

RACE REPORT 2023 MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ 第7戦 SUPERBIKERACE IN OKAYAMA 【2023.9.23(土)~24(日)】

2023 全日本ロードレース 第7戦！

第6戦オートポリス大会から2週間のインターバルでの全日本ロードレース選手権第7戦岡山大会。西日本地域でのレースはここ岡山、九州のオートポリス、三重の鈴鹿の3か所での開催だ。すこし暑さの残る今大会、前大会のオートポリスとは違い、すこしテクニカルなコーナーの連続が特徴である（合計13の中低速コーナー）。マシンも昨年の20モデルから22モデルへと変更され、使用ガソリンもバイオ燃料が指定されたことからデータの変更など、前週の事前テストで調子を合わせた。

9/23予選：12:30～ 予選1回目（上位10台が2回目の予選に進出できるノックアウト式）前日まで、なかなか昨年のベスト32秒台を超えられない状況ではあった、又、フロントタイヤにチャタリング（ブレーキ時にタイヤが跳ねる現象の事）が止まらず、様々試したが変わらず、しかしパワーが上がった22モデルと開幕転倒によるケガの影響がない今年は、予選1回目4周目にベストタイム1分31秒944を出し8番手で予選2回目に挑む事に。使用できるタイヤの本数に制限がある事も影響し、1分32秒480の1回目の0.5秒落ちでスタートグリッドを10番で24日の決勝レースを迎える事になった。



9/24決勝レース：13:45～ 朝のウォームアップでマシンやコース状況、セッティングの最終仕様を確認し午後の決勝レースを迎えた。サイティングラップでマシンとコースの状況を再度確認し、10番グリッドに着いた。いよいよスタート、シグナルがレッドからブラックに、全車が綺麗にスタート、1コーナーを抜け2輪用シケインでの転倒もなくオープニングラップを終えた。秋吉はスタートはうまくこなしたが、チャタリング症状が残ったままのレースとなり順位も上げられず、苦しい展開。残り周回数が17周となった所で上位のライダーがバックストレートエンドの右コーナーでスリップダウンで離脱、黄旗は出たがセカンドグループにいた

秋吉は順位を9番手に上げ、そのままレースは進行され無事9位でレースを終えた。

【今回のメカニックサポート】ホンダドリーム箕面 営業スタッフ1名 ホンダドリーム広島 サービススタッフ1名

2023年ホンダドリームジャパンは秋吉選手のチームにレースサポートを実施、ここ岡山大会ではホンダドリーム箕面、広島スタッフ2名がサポートで木曜日に合流、マシン整備やレースのグリッドなど、国内トップカテゴリーのレースに触れ、自身の経験値を上げ、お客様へフィードバックできる貴重な体験と知識を得た。



【第7戦 レース結果】

決勝レース(24周)：9位
第7戦時点ポイントランキング：11番手